

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。

【研究課題名】	救急搬送における不応需（受入困難）の実態と入院後医療資源使用・転帰への影響に関する研究	
1. 研究の目的と方法	本研究の目的は、救急搬送時の不応需（受入困難）に関連する患者要因および医療機関要因を明らかにし、さらに不応需が入院後の医療資源使用（医療費・入院日数・処置内容等）および転帰に与える影響を、全国規模の行政データ（消防庁救急搬送データ・DPC データ）を統合解析することで明らかにすることです。総務省消防庁および厚生労働省からすでに匿名化されたデータの提供を受け、解析を行います。したがって、個人が特定されることはありません。	
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	2018 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日の間に、消防の救急車で全国の DPC 対象病院に救急搬送されたの方。	
4. 研究に利用する 試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。
	(3) 情報の種類	・ 消防庁救急搬送データ（最終受入医療機関、受入照会回数、不応需理由、搬送日時 等） ・ DPC データ（医療機関名、診断名、診療行為、医療費、入院日数、退院転帰 等）
	(4) 情報の取得の方法	総務省消防庁及び厚生労働省よりデータの提供を受けます。
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。	
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名 東京慈恵会医科大学 救急災害医学講座危機管理・救命分野
		氏名 田上 隆
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1) の研究責任者と同じ
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。

<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>「DPC データ提供ガイドライン」に沿ってすでに匿名化処理したデータを総務省消防庁及び厚生労働省より提供を受けます。データはインターネットから隔離された鍵付き専用室の高性能ワークステーションに保管し、暗号化保存・アクセス権限管理を行います。外部媒体への持ち出しは禁止されており、研究責任者のみがアクセス可能です。</p> <p>情報の利用開始予定日：2026 年 1 月頃～</p>
<p>【問い合わせ先】</p>	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 救急災害医学講座危機管理・救命分野</p> <p>研究責任者：田上 隆（たがみ たかし）</p> <p>窓口担当者：田上 隆（たがみ たかし）</p> <p>電話番号：03-3433-1111（内線 3116）</p> <p>対応時間：平日 9：00 ～ 17：00</p>

※

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報はすでに削除されています。研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。